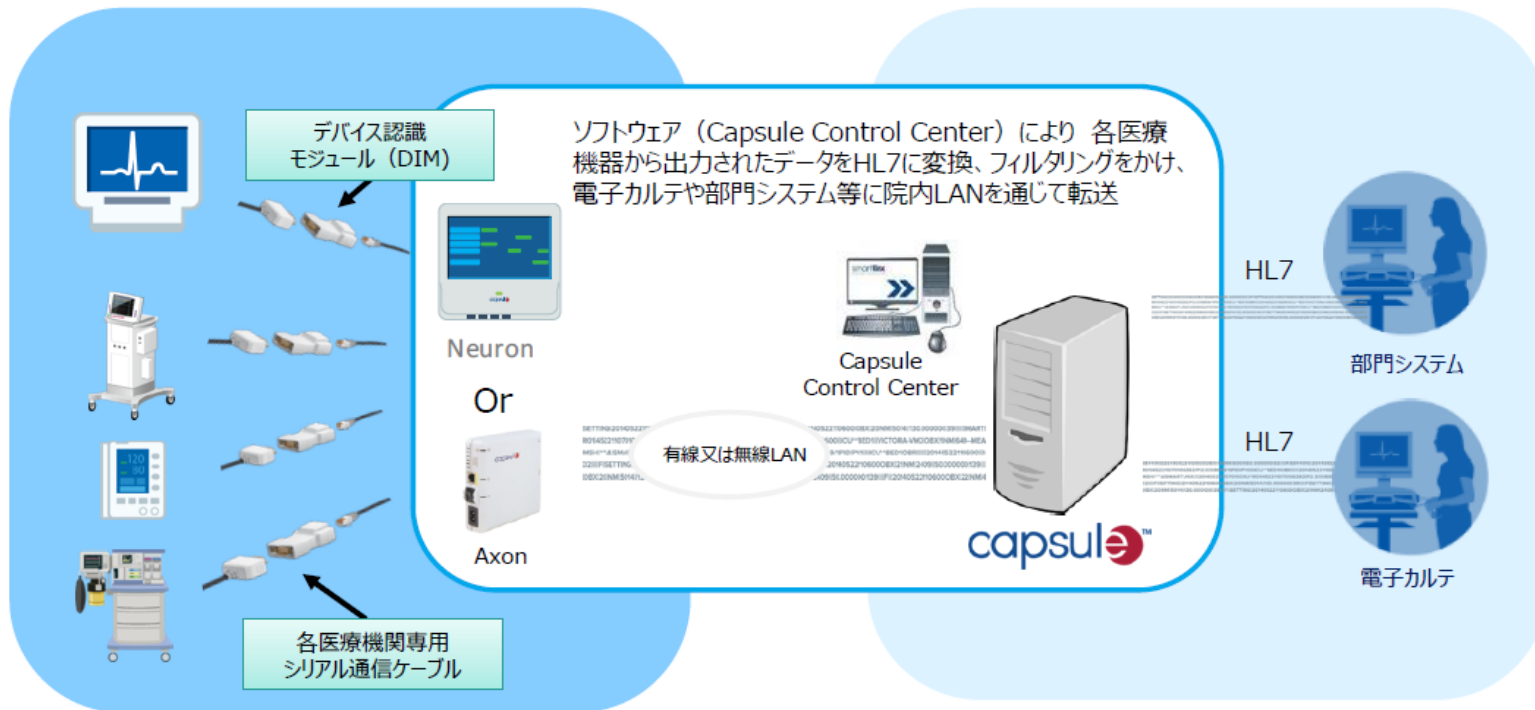


Capsuleとは？



- 異なるメーカーの医療機器データを、あたかもカプセルに包み込むように取り込み、電子カルテや部門システムとの接続を可能とするシステム
- 医療データ収集のためのコスト削減と導入期間短縮を具現化するツール



Capsuleのご紹介



Capsule は病院向け医療機器統合を実現する世界的なリーディングソリューションです。



20年以上

医療機器統合の経験

2700以上

世界の医療機関で導入

米国トップ**20**の医療機関
の内、**16**施設採用

100社以上

医療機器メーカーと接続

1000機種以上

接続実績のある
医療機器の数

50社以上

電子カルテや
重症部門システム等と接続

Capsule製品（ハードウェア本体 タイプ①） – Neuron3



次世代のモバイルクリニカルコンピューター



合計 2 個のポート
※背面に 2 シリアル



合計 9 個のシリアルポート
※前面に 7 ポート、
背面に 2 ポート



合計 9 個のポート
※前面に 4 シリアルポート、
2 USB、背面に 2 シリアル

主な特長

- 患者ID連携可能（バーコード読込、リストから選択、直接入力）
- モバイル端末（無線LAN接続可）のためベッド移動が可能
- ストレージ内蔵（ネットワークダウンなどの場合、72 時間分のデータを蓄積可能）
- 医療機器の接続は最大9つまで可能
- 波形データの取り込み（ドライバリストに波形対応状況を確認可）
- タッチスクリーン



Capsule製品（ハードウェア本体 タイプ②）

– Axon 110, 410 and 810シリーズ



医療機器からのシリアル出力と院内ネットワークをつなげるブリッジ

柔軟なソリューション

- 1ポート、4ポート、8ポートを選択可能
- 手術室やICUのような環境下でも目立たず場所を取らない設置が可能
- 有線、もしくは無線LAN接続が可能
- 電源オプション: 本体電源またはPoE (Power over Ethernet)

簡単な設置

- 設置の際に必要なケーブルは1本のみ
- VESA規格に準拠した取り付け方法が可能

ワイヤレスセキュリティ規格に準拠

WPA-PSK, WPA2-PSK, WPA2 Enterprise



導入実績



統合の複雑さ

CUHでは、集中治療室や手術室から一般病棟や急性期病室へ臨床意思決定を伝えられる、医療機器の接続性とデータ管理の単一のソリューションを求めています。CUHは、最初にEPRを自動化し、次に臨床研究システムにデータを提供するなど、機器データの多目的利用を模索していました。そのためには、インパウンド接続を取り込み、さらに、その他のシステムの要件に合わせてアウトバウンドデータを複数のカスタマイズ可能なフィードに解析するシステムが必要でした。そこでケンブリッジ大学病院には、機器統合のニュアンスの舵取りと全体計画の作成を助けてくれる経験豊かなパートナーが必要でした。

実施した領域

ICUとICUの緊急ユニット、手術室、麻酔。

統合機器

心臓モニター、人工呼吸器、麻酔機器、CO2モニター。

統合対象

電子患者記録、臨床研究、将来の展開を解析アプリケーションに。

結果

- スタッフの年間労働時間260万ポンドに相当する救命救急における文書化の所用時間の節約
- 年間225件という麻酔および手術件数の増加
- 手術室における所用時間を1件あたり3分短縮

効率と患者の安全性における様々な恩恵

- EPR 文書化、臨床研究、また将来的には、NEWS2 (UK National Early Warning Score、英国早期警告スコア)などの解析と臨床意思決定のためのデータ可用性の向上

CUHは、デジタル革新への取り組みが評価され、HIMSS EMRAM (医療情報管理システム学会電子カルテ採用モデル) ステージ6のステータスを獲得し、MDIIは、NHS Global Digital Exemplar (グローバルデジタルモデル) として指定された主要要素でした。



Capsuleのご質問、ご説明依頼は、
お気軽にお問合せ下さい。